

日本共産党 和歌山市公議員

ひめだ高カニソース

NO.1038

14.12.9

12月4日は衆院選の投票日です

「暴走政治をストップできるのかできないのか」小田嶋雄志氏シエイクスピアのハムレットの名セリフ「このままでいいの、いけないの」が浮かびます。この口癖は、衆院選の投票日です。棄権しないよう、みんなを誘いあって投票に行きましょう。

12月定例会議会報告

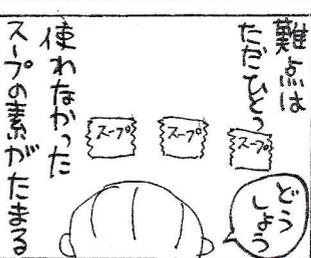
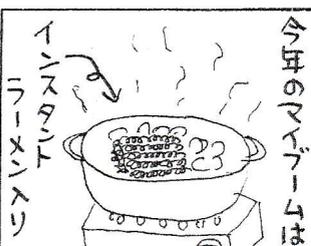
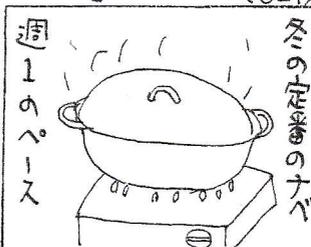
12月定例会議会も残りわずかになりました。本号では日本共産党市議団の一般質問の内容について報告します。

旧同和事業の中止を求める

12月2日(木)日本共産党の森下千代子市会議員は、旧同和事業の中止を求める

一般質問は市議会ホームページで中継録画を配信しています。

意識を解消するために、啓発を妨げるまた事業が必らずと答弁したところについて、包括外部監査から多量とも会の交付費額が不公平だと指摘があったことも示し、特定の地域のみ認められる住宅減免や特定地域の住宅のみが存在するエレベーター管理人報酬金、特定地域の子ども会のみに交付される多額のお金など、行政が施策によって市民を分け隔てすることが、どのようにつ別意識を解消することにならざるのかと迫りました。



JR タクシー乗降場所に屋根を

12月2日(木)日本共産党の海辺忠広市会議員は、親光行政について、一般質問しました。海辺市議は、

こんにちは
日本共産党の
かとう直人
です。
(その46)

障害者ホームのこと
私の関係する障害者グループホームが開設1年を迎えた。最初の入居者を迎えてまもなく定員が満たされた。各々の入居経過をたどれば、なるほどホームが待たれてきたわけだ。単身生活が困難になった人、高齢の家族との同居を卒業するため、長期に精神科病院の退院先に、障害のある人の親亡き後、ホームの役割がひときり輝きました。さて、我がホームのメンバー全員、日中は近くの作業所へ通っている。ホーム生活はぶつかりあっても程よい距離で、なにか意識も芽生えた。ホームが地域に点在すればどれだけメンバーが頼らず地域生活を続けられるだろうか。

課題となるホーム開設初期費用、スタッフの正規職化、新築の建設費金援助などを生活密着型公共事業として取り組めなれば、政治がリードするならホームは地域に広がる存在することができよう。



かとう直人 (県議予定候補)

JR和歌山駅のタクシー乗降場所に屋根がないことから、旅行者の大きな旅行カバンや障害者の車いすをトランクに出し入れする際に雨が降って水がはたき濡れになるなどのタクシー労働者の声を紹介し、屋根の設置を求めました。渡辺市議は和歌山城内バス駐車場近くに腰をおろす場所がなく、土産物売り場前のベンチは分煙されていないことから語り部としていえるボランティア

イアの方へ観光客の苦情がめいたため改善を求め、また実を求めました。

高齢者の難聴 専門医受診を

12月4日(木)日本共産党の松坂みち子市会議員は、高齢者の難聴について、一般質問。松坂市議は、高齢になって聞かえが悪くなること、人とのコミュニケーションが苦手となり、引きこもりや認知症になりかねないことなどを指摘。市議で高齢者の難聴問題に取り組む

外国語のパンフレットの発

こども子育ては 日本共産党

公的保育の拡充こそ必らず 来年度から実施予定の子ども子育て新制度の施設整備計画では、安倍首相が「待機児童ゼロ」と公約している17年度でも全国で4万6千人分が不

足することが明らかになっています。

新制度では、国・自治体の責任を後退させ、保育の収入を株主配当に回せる仕組みや保育士がゼロでも保育ができる施設、お母かな研修で保育者を行う「子育て支援員」の導入など、営利企業にいいところをねらうことにより、「待機児童解消」

な海軍改修費を財源に図るというものです。しかし、このようにやり方で待機児童は解消できなるといっては、キリがありません。

日本共産党は、国と自治体の責任で保育所や保育士を増やすことや保育料の軽減を図ることなど、夢を掲げ、実現に努めることと提案しています。

ミニマルセンター建設

12月4日(木)日本共産党の中村あさ子市会議員は、市内の力所に建設する計画となっているミニマルセンターについて、一般質問しました。中村市議は、輸入会などでシニアエフササイズに取り組んでいる方からは場所の確保に苦労しているという意見が数多く寄せられ、避難所としての機能を備えたものをつくらなければならないとの要望が数多く寄せられたこと、市議は、市議会に要望書を出し、水の上・砂山・高松・今福・グロックへのミニマルセンター建設がなかなか進まない理由と建設の必要性や計画について、市の考えを質問しました。

駅のバリアフリー化の促進

12月5日(金)日本共産党の南畑さち代市会議員は、交通改善について、一般質問しました。南畑市議は、駅のバリアフリーについて、整備対象駅の乗降客が4千人以上から3千人以上に国の基本方針が改訂されたことから、市の対応について質問。乗降客が2千5百人をバリアフリーの対象外と

なっている紀ノ川駅で、エレベーターがないため、跨線橋の上り下りが大変だといふ利用者の声を紹介し、基準を満たしていないといえ、基準に近い駅はバリアフリー化すべきだと主張し、当局の見解を求めました。担当の総務公室長は、実態等を踏まえ、県や事業者に働きかけた、と答弁。